

## 部課長向けDX研修のフォローアップについて（依頼）

- 1 フォローアップアンケートの実施
- 2 アンケート結果を踏まえた現場での実践検討  
（係長・課長補佐・副参事級職員向け研修の実施）

# 1 フォローアップアンケートの実施

期間	令和4年10月24日（月）～10月31日（月）
対象	全部課長級職員
方法	県電子申請システムにより回答（別途依頼メールへリンク先添付）
設問	<p>全3問</p> <p>Q1 貴部のミライズ宣言に基づき、上半期中に取り組んだことを記載してください（主な取組3つまで）</p> <p>Q2 Q1で回答した取組を進めるにあたって、直面した課題等があれば記載してください（自由記載）</p> <p>Q3 その他、本アンケートや本市のDX推進についてご意見等があればご記載ください（自由記載）</p>

部	ミライズ宣言
総務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やり方を変える勇気を持って、働き方改革を進めます。</li> <li>・新しい価値を創り上げていく気概で、業務改善に取り組みます。</li> <li>・「道を知っていることと実際に歩くこととは違う」DXを活用して契約制度の見直しや災害対応に努めます。</li> </ul>
未来創造部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情熱、コミュニケーション</li> <li>・遂行、道を決める</li> <li>・創造、10年後</li> </ul>
財務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やり方を変える勇気を持とう！</li> <li>・協創しながらテクノロジーで新しい価値を提供しよう！</li> <li>・新しいアイデアを尊重し職員と共につくり上げていこう！</li> </ul>
市民部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やり方を変える勇気を持って攻める市民部</li> <li>・DXで市民とつながるつなげる市民部</li> <li>・現場重視で新しい価値を創り出す市民部</li> </ul>
文化スポーツ観光部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの価値を確認</li> <li>・パートナーの意見を尊重する</li> <li>・楽しみながら分業して変える！</li> </ul>
福祉部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5Gはあくまでも手段</li> <li>・やり方を変える勇気を持つ</li> <li>・ぶれずに創り上げる</li> </ul>
健康部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まずは、潜在的な課題や需要を掘り起こす</li> <li>・やり方を変える勇気を持ち新しい価値観を創り出す</li> <li>・コミュニケーション（信頼と友情）を大切に周囲を巻き込み積極的に仕掛ける</li> </ul>

部	ミライズ宣言
環境部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・官民連携による新しい価値の創造</li> <li>・行政の意識改革、変える勇気</li> <li>・「ゼロカーボン」・「ごみゼロ」社会の実現</li> </ul>
産業経済部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人とテクノロジーをつなぐことで新しい価値を創造し、豊かな未来を創ります。</li> <li>・最先端技術を創り上げていくという気概と耐力をもってぶれずにやりとげます。</li> <li>・やり方を変えたくないという国民慣性を打破する勇気を育みます。</li> </ul>
農政部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションを大切にして組織を成長させる</li> <li>・発想だけに終わらず情熱を持って遂行</li> <li>・農業者の価値向上のためDXを推進する</li> </ul>
都市計画部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民と一緒にまちをつくる</li> <li>・勇気を出して変革し続ける</li> <li>・DXを活用して新しい価値を見出す</li> </ul>
建設部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「やる気」</li> <li>・「変革」</li> <li>・「みんなで」</li> </ul>
会計管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やり方を変える勇気</li> <li>・ユーザビリティとセキュリティのバランス</li> <li>・職員間で意識の統一</li> </ul>
水道局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の利益のため、幹部が気概を持ち、やり方を変える勇気が必要</li> <li>・新しい価値を創造し、利益を出すことで成長できる（実行が7割）</li> <li>・健全な会社とは、利益を出せる会社（公営企業）</li> </ul>

部	ミライズ宣言
消防局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ やり方を変える勇気を持つ</li> <li>・ コミュニケーションとチームワークが重要</li> <li>・ 幹部自ら「気概」を持って実行</li> </ul>
議会事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水平分業を進める</li> <li>・ 従来やり方にとらわれない</li> <li>・ 自ら状況を作り仕掛けてゆく</li> </ul>
教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩き続ける教育委員会</li> <li>・ 変わることを恐れない</li> <li>・ 協創</li> </ul>
選挙管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 積極的に仕掛ける</li> <li>・ より豊かな未来を創る</li> <li>・ やり方を変える勇気を</li> </ul>
監査委員事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5Gなどは手段でしかない</li> <li>・ 関係者の全てが前面に出る、職員全員が関係者になる</li> <li>・ 情熱、人がやりとおす、まずは職員がDXの情熱を持つ</li> </ul>

## 2 アンケート結果を踏まえた現場での実践検討 (係長・課長補佐・副参事級職員向け研修の実施)

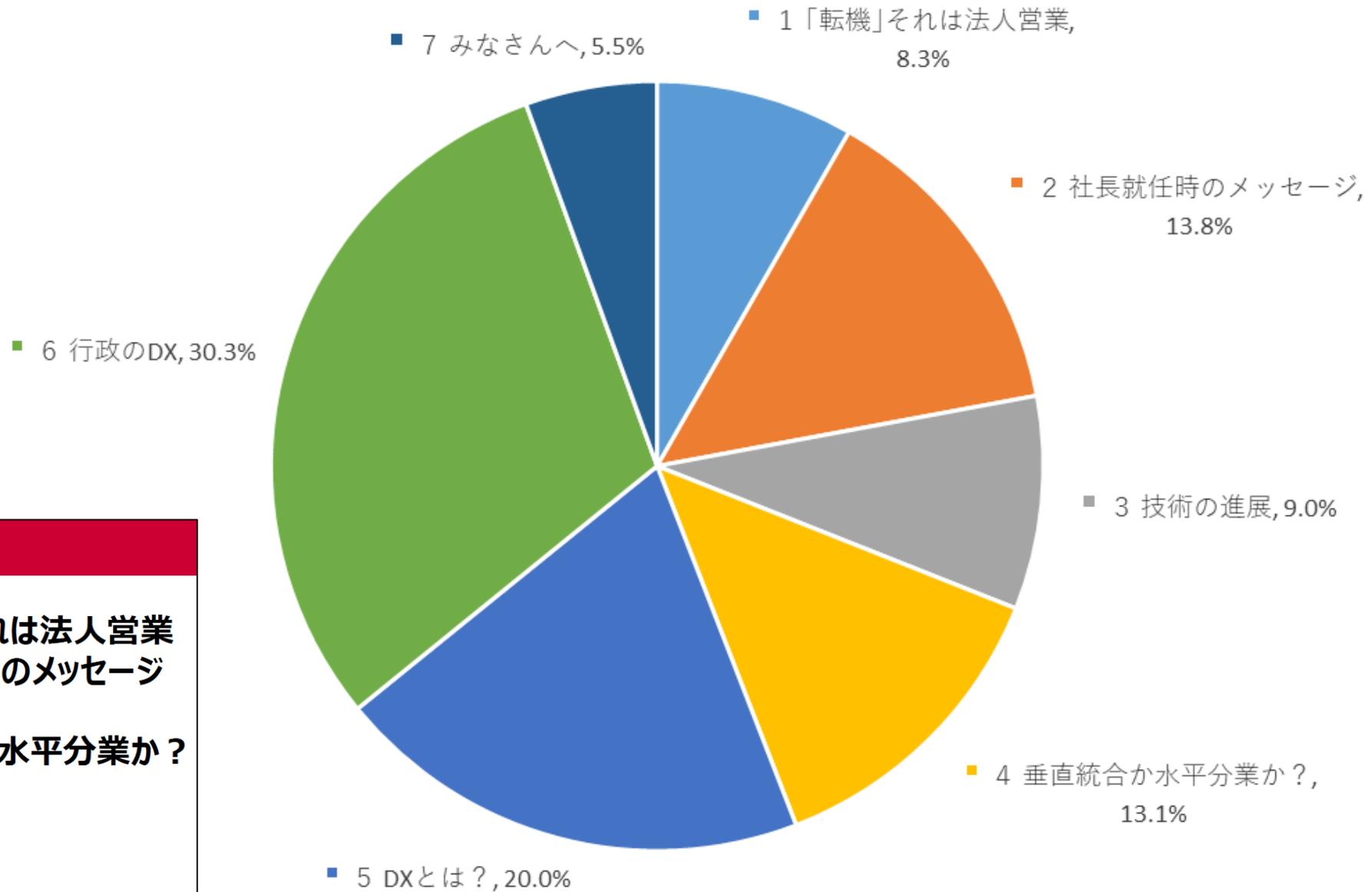
日程	令和5年2月(予定)
対象	係長・課長補佐・副参事級職員 約100名
場所	新議会棟 大研修室(予定)
次第 (予定)	1 講演 株式会社NTTドコモ 相談役 吉澤和弘 様 テーマ:調整中  2 ワークショップ
備考	・詳細につきましては、講師との調整等がございましたら、別途ご連絡いたします

## 【参考】前回のアンケート結果

日時	令和4年4月18日（月）14：00～16：00
場所	前橋市総合教育プラザ（岩神町）、5・6階研修室
対象	部課長級職員 約100名
次第	<p>1 講演（40分） 株式会社NTTドコモ 相談役 吉澤和弘 様 テーマ：幹部職員のマインドセットの変革 演題：「DXで未来を創る」</p> <p>2 ワークショップ（80分） （1）概要説明 （2）各部に分かれてワーク （3）講評</p>

Q1 講演で興味を持った（もっと聞きたかった）項目は何ですか？ ※複数選択可

n :145



## アジェンダ

- 1 「転機」 それは法人営業
- 2 社長就任時のメッセージ
- 3 技術の進展
- 4 垂直統合か水平分業か？
- 5 DXとは？
- 6 行政のDX
- 7 みなさんへ

Q2 Q1の選択肢を選んだ理由を教えてください。(回答テキストを一部抜粋)

### 1 「転機」それは法人営業 を選択

「道を知ることと歩くことは違う」という話が印象に残ったから  
最も参考になるのは実体験であると考えから  
DXに対する意識の垣根が低くなったように感じたため

### 2 社長就任時のメッセージ を選択

企業が社会へ新しい価値を提供、積極的に仕掛けるは説得力があった。  
デジタルの活用は職員の意識改革が必要だと思ったから  
「やり方を変える勇気」が必要であると思ったから  
リーダーシップの心構えを気付かせてくれた  
人生に役立つ金言が示されたため

### 3 技術の進展

時代は確実に進化しているから  
ムーアの法則、半導体の歴史、自らの課題設定力、着想・構想力が必要  
今までの事務のやり方を変える(デジタルの力) 勇気が必要等の説明があり、印象に残った。

### 4 垂直統合か水平分業か?

今後、業務を進めるうえでの参考になったから  
役所の仕事においても一握りの猛烈職員が全てをこなすのではなく、水平方向に業務を拡散して対応する方が合理的であると思ったから  
関係部所との連携強化による縦割りからの脱出とDX行政との活用手段  
前橋市で進めるDX構想に関係する実例としてのお話しや、横の繋がりによる業務の共有や進め方を参考としたい  
協創に必要なことの部分が参考になった。

## 5 DXとは？

やり方を変えたくないという国民慣性がある中で、やり方を変える勇気を自分や市民に浸透させる困難さと必要性を感じた。

ICT技術を利用して前例踏襲主義から脱却し、イノベーションを進める動機付けとなった。

行政に携わるものは、比較的何かを変えることには消極的になってしまうが、やり方を変える勇気がなければDXを活用する意味がないことを理解することができました。

「やり方を変える勇気」という言葉が印象に残っているため

DXにおいて、5Gは単なる手段である、ということ。

DXをどう業務に結び付けるかをハッキリと自覚したい

イノベーションに一番大切なことは「やり方を変える勇気」というところが一番印象に残ったから。

行政職はなかなか既成概念からの脱却が難しいと感じているため

DXとはどういうものかイメージしやすかった。

DXに取り組む必要性について、再認識できた。

## 6 行政のDX

DX自体がどうしてもあやふやであるため、ピンとくる話で理解しやすかった。

DXのイメージは以前より軽くなったが、具体的に我々が進めるものがまだはっきりしないから。

「マイナンバーは、行政OSであり、ユーザビリティとセキュリティのバランスが重要」という言葉が良かった。

行政では民間と比較しDXが進んでいないため

行政におけるDXに興味があり、今後の仕事の参考になるかと思ったから

今後DXを進めていく中で手続きだけではなく、ハード整備に関するきっかけ作りの参考にしたいため。

## その他自由意見

サブ会場のため講師の熱意を感じ取ることができなかった。臨場での講演を希望します。

今回は導入部分の講演だったと思いますので、引き続きDX推進のヒントとなる講演をお願いしたい。

講演とワークショップとの関連性が薄いように感じた。

幹部職員にとって大変意義深い研修だったが、未来を切り開く若い世代に受講してもらいたい内容とも感じた。

係長級の職員参加もありかなと感じた。